

●子どもたちは、少しずつ新しい環境に溶け込みはじめ、安心した表情が読み取れるようになってきました。親御さんのお支えを感謝します。

未だにコロナ禍中にありますが、子どもたちの育ちの場はこのまま続けて確保できたらいいですね。

●「きく、聞く、聴く」

「神さまは、人間にひとつの口と二つの耳を与えられた」(インディアンのことば)

子育ては子どもの声に耳を傾けることから始めます。
「相手の話を黙って聞く」。これはぜひ身に付けたい生き方の大切な習慣です。ありますが、なかなか実行が難しいです。ついつい自分主張が先になります。

でも子どもにとって「聞いてもらっている」というのは、「自分の事を分ってくれている」という安心感と信頼感が生まれ、そこから生きる力や意欲、自信へと心が成長するそうです。

一日一回でいいのです。子どもさんが何か言葉を発したら「ふん、ふん」うなづいてあげましょう。口を挟まず、終わりまで黙って聞きましょう。こうしてもらうと子どもさんはとても嬉しいのですよ。やる気が出るのです。

どうぞ実行してみてください。

●「小さなモモにできたこと、それはほかでもありません。相手の話を聞くことでした。なあんだ、そんなこと、と皆さんは言うでしょうね。話を聞くなんて誰だってできるじゃないかって。

でもそれは間違いです。本当に聞くことのできる人はめったにいないものです。……モモに話を聞いてもらっているとバカな人も急にまともな考えが浮かんできます。モモがそういう考えを引き出すようなことを言ったり、質問したりというわけではないのです。彼女はただ、じっと座って、注意深く聞いているだけです。」

M.エンデ「モモ」

子どもは口数の2倍、聞く必要があるようです。

●5月もく生活習慣> 早寝、早起き、朝ごはん

寝ていない、食べていない…子どもさんは午前中体温が上がらず、ぐったりして動かないことがあります。心を鬼にして9時までには寝かせましょう。幼児時代の睡眠不足は脳の発達にも影響するそうです。継続は力、面倒でも毎日繰り返し実行しましょう。応援しています。

わたしの兄弟たち よくわきまえておきなさい

誰でも聞くに早く、話すに遅く、
また怒るのに遅いようにしなさい

新約聖書ヤコブの手紙1:19